

## 第4回中間市立病院あり方検討委員会

### 議事録

---

議 題：答申書（案）について

日 時：令和元年9月27日（金）14：00～：15：10

場 所：なかまハーモニーホール会議室1

参加者：委員7名

武富章委員長、村松圭司副委員長、内山明彦委員、椛島成利委員、鬼崎信好委員  
津田文史朗委員、中原由美委員

事務局5名

瓜生康平（中間市立病院病院長）、江口雅人（中間市立病院副院長）、貞末孝光（中間市立病院事務長）、末廣勝彦（中間市立病院事務室課長）、田中稔（中間市立病院事務室経営企画係長）

(株)システム環境研究所3名

佐藤洋周、小川敦、小田葵

以上、出席者15名

---

資料：第4回中間市立病院あり方検討委員会次第

答申書（案）

#### 1. 開会

（病院）

皆さん、こんにちは。本日は、ご多忙のところ、第4回中間市立病院あり方検討委員会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、第4回「中間市立病院あり方検討委員会」を開催いたします。

#### 2. 委員長あいさつ

（病院）

始めに委員長より挨拶をお願いいたします。

（委員長）

このあり方検討委員会も4回目となりました。今日が答申案のまとめということになります。昨日、厚生労働省から発表があり、そこには再編統合対象の病院名が明らかになっておりました。中間市立病院も、「診療実績が特に少ない」および「類似かつ近接する」の項目において、いくつも指摘を受けていました。今後の病院のあり方もそれに沿って考えていかなければならないのかなと感じております。答申もそれに沿った内容になっているかと思しますので、皆様、ご協力をお願いします。

(病院)

ありがとうございました。

それでは、議題に入ります。委員長、よろしくお願いいたします。

### 3. 議題

(委員長)

それでは、これより議事に入ります。中間市立病院のあり方の答申書(案)についてです。事務局より説明をお願いいたします。

(病院)

それでは、私から答申書(案)について説明をいたします。

まず、構成といたしまして、中間市長より諮問いただいた内容で項目とさせていただいております。目次にありますとおり、

- (1) はじめに
- (2) 本市の医療提供体制
- (3) 市立病院の果たすべき役割とあり方
- (4) 市立病院の経営形態
- (5) その他市立病院のあり方検討に必要な事項
- (6) おわりに

となっております。

第1回目から第3回目まで委員の皆様にご議論いただいた内容を取りまとめておりますので、項目ごとに委員の皆様でご確認、ご議論いただき、答申書をまとめていただきたいと思っております。

委員長、よろしくお願いいたします。

(委員長)

事前に案についてはお渡ししていると思っておりますので、各委員の皆様はご意見等おありだと思います。改めて読むことは控えまして、答申書の項目ごとに質疑を受けたいと思っております。

(委員長)

1. 「はじめに」についてご意見等あれば、お願いいたします。事実に対する記載ですが、表現等おかしいところはありますか。修正点無しということによろしいでしょうか。

(質問等無し) (了承)

(委員長)

次は、2. 「本市の医療提供体制」についてです。まず、(1) 「人口動態と患者数の

将来予測」は事実に対する記載がされています。(2)「医療機関の分布状況」では現状をそのまま記載しています。その後、(3)「救急搬送の状況」、(4)「地域住民の受療動向」、(5)「要介護者・要支援者数の将来予測」、(6)「要介護者・要支援者の介護保険サービス利用状況」と続きます。何かご意見はございませんか。表現がおかしいところを指摘していただいても結構です。

(委員)

P3(6)「要介護者・要支援者の介護保険サービス利用状況」の部分の表現について、「特に施設サービス(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設(現介護医療院))」とありますが、まだ介護医療院になっていない施設もあります。ただ単に併記すれば良いと思います。

(委員長)

現実には介護療養型医療施設が介護医療院になっていない施設もあり、今はちょうど転換期にあたるので4つの施設を併記するようにしましょう。繰り返します。「特に施設サービス(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院)」とします。

(委員)

P3(3)「救急搬送の状況」に「中間市内で発生した救急搬送については、半数以上を遠賀郡水巻町の医療機関にて受け入れている。」とありますが、要するに半数以上を水巻町に依存しているということですので、そういう表現の方が良いと思います。

(委員)

「半数以上が遠賀郡水巻町の医療機関に流出している。」という表現の方が良いですね。

(委員長)

繰り返します。「中間市内で発生した救急搬送については、半数以上が遠賀郡水巻町の医療機関に流出している。」とします。

(委員)

P2(2)「医療機関の分布状況」に「しかしながら」と書いてありますが、「しかしながら」は話言葉ですので、「しかし」の方が良いです。同様に、P3(4)「地域住民の受療動向」の「しかしながら」も「しかし」にしてください。

(委員長)

繰り返します。P2(2)「医療機関の分布状況」の「しかしながら」という表現を「しかし」にしてください。もう一つ同じ表現で、P3(4)「地域住民の受療動向」の「しかしながら」を「しかし」にしてください。

(病院)

先ほどP3(3)「救急搬送の状況」について「流出している」と変更しましたが、「搬送されている」にしてもらいたいです。

(委員長)

「中間市内で発生した救急搬送については、半数以上が遠賀郡水巻町の医療機関に搬送されている。」としましょう。

(委員)

あくまで救急車の話をしていると思うのですが。

(委員)

「救急搬送」を「救急患者については」もしくは「救急患者は」とすると、搬送という言葉につながると思います。

(委員)

良いと思います。

(委員長)

「中間市内で発生した救急患者は、半数以上が遠賀郡水巻町の医療機関に搬送されている。」とします。

(委員)

確認です。次に「中間市内の医療機関では、救急搬送件数の全数に対して 12.0% (333 件) を受け入れている。」とありますが、この文を言い換えると、中間市立病院が受け入れている患者は 12.0%ということになりますか。

(委員長)

おそらく中間市立病院だけでは無く、中間市内の他の病院も合わせて 333 件ということだと思います。

(委員)

これは中間市の消防隊がピックアップした患者さんのうち 12.0%が中間市立病院に搬送されているということですか。

(委員)

中間市消防本部の管内搬送を指しており、12.0%が中間市内の医療機関に搬送されているということだと思います。ほとんどは中間市立病院もしくは A 病院に搬送されているとは思いますが。

(委員)

中間市立病院の救急搬送状況を説明するのであれば、中間市立病院だけの件数を記載したほうが分かりやすいと思います。

(委員長)

中間市立病院の救急医療については P5 に記載しており、年間 333 件のうち 232 件の救急搬送患者を受入れているとあります。

(委員)

P3 (3)「救急搬送の状況」の 2 文目は不要ではないでしょうか。

(委員長)

あった方が良くと思います。

(病院)

救急搬送の受入れの数は、P5①「救急医療」の部分に年間 232 件と記載しています。

(委員)

P5 3.「市立病院の果たすべき役割とあり方」に、中間市立病院が前向きに取り組む事項として救急搬送を挙げているので、中間市の実績、そして、中間市立病院の実績は記載したほうが良いと思います。ただ、P3(3)「救急搬送の状況」では、中間市内の病院の実績なのか、中間市立病院の実績なのかどうか分かりにくいと感じます。

(委員)

中間市の消防隊が搬送する件数の 12%を中間市立病院が受入れている、ということですよ。残りは他自治体に流れている旨を伝えるために記載されているという理解でよろしいでしょうか。

(病院)

本市の医療提供体制を整理しているので、市のことだけを記載したいと考えています。

(委員)

中間市の現状は記載すべきだと思います。他自治体に流れていることや中間市の救急病院にはあまり運ばれていない事実は、表現を変えても残した方が良いと思います。

(委員)

中間市内の救急件数においては、全体の 12.0%を中間市立病院と A 病院とその他の医療機関が引き受けているということですよね。最初に遠賀郡水巻町について書かれていると分かりにくいので、まず中間市について記載した方が良いと思います。「中間市内で発生した救急搬送については、全体の 12.0%を中間市内の医療機関で受け入れている。そして、残りの大多数を遠賀郡水巻町で受け入れている。」とした方が良いと思います。

(委員)

333 件の件数というのは何年の実績ですか。

(病院)

平成 30 年 1 月～12 月のデータです。

(委員)

データがいつのものなのか追記をお願い致します。「333 件:平成 30 年」としてください。

(委員)

件数、データ年数、全体件数に対する割合の順に記載した方が分かりやすいと思います。

(委員長)

ご意見をまとめますと、「中間市内で発生した救急患者は、333 件（12.0%：平成 30 年）を中間市内の医療機関で受け入れている。半数以上は遠賀郡水巻町の医療機関に搬送されている。」となります。要するに 88.0%が市外に流出しているということですね。

(委員)

半数が遠賀郡水巻町の医療機関で、残り 3 割が北九州市の医療機関ということですよ。

(委員長)

そこまで書く必要はないのではないのでしょうか。「中間市内で発生した救急患者は、333 件を中間市内の医療機関で受け入れている。その他は中間市外の医療機関に搬送されている。」にしましょうか。

(委員)

そうであるなら、救急患者ではなく救急搬送件数とした方がよいのではないのでしょうか。基本的に、消防の救急搬送件数と患者数は異なります。

(委員長)

「中間市内で発生した救急搬送件数のうち、333 件（12.0%）を中間市内の医療機関で受け入れているが、他は中間市外の医療機関で受け入れている。」はいかがでしょうか。

(委員)

「中間市内の件数は 333 件（平成 30 年 1 月～12 月）であり、それは救急搬送件数の 12.0%を占める。」と書く等、件数と割合をしっかりと分けた方が分かりやすいと思います。また、件数についてはいつのデータなのかを明記すべきだと思います。

(委員)

平成 30 年度の件数全体を示していない理由はありますか。

(病院)

消防から具体的な医療機関名を出さないでほしいという要望があったため、件数よりも前に、割合を記載するよう心掛けました。

(委員)

平成 30 年度の中間市内で発生した救急搬送件数の総数を出していない理由は何ですか。

(病院)

割合から計算すれば件数は出るのでありますが、件数は記載しないよう心掛けたため、総数は記載されていません。

(委員)

「中間市内で発生した救急搬送件数は平成 30 年 1 月～12 月までで何件だった。そのうち 333 件（12.0%）は、中間市内の医療機関に搬送された。また、半数以上は遠賀郡

水巻町の医療機関に搬送された。」としてはどうですか。付け加えるのであれば、とくに件数の多い遠賀郡水巻町のことで良いと思います。

(委員)

個別の医療機関を推察されるべきではないと考えるのが消防の判断でしょう。原則的にはバランスよく搬送しているのだと思いますので、遠賀郡水巻町と明記するのは好ましくないのかもしれませんが。この部分で示したいのは、中間市立病院ではこれだけしか受け入れられていないという事実であり、だからこそ、後半の中間市立病院の取組みにつながるのだと思います。

(委員長)

「半数以上が遠賀郡水巻町の医療機関に搬送されている。」という部分はいらいらないですかね。あとには響かないのであれば、削除します。もう一度修正点を確認します。

「平成30年1月～12月の期間に中間市内で発生した救急搬送件数は2778件であった。このうち333件を中間市内の医療機関で受け入れており、全数に対して12.0%にあたる。」という流れにしましょう。使用データの期間と全数を述べた後、中間市の件数と割合を示し、遠賀郡水巻町についての記載は削除することとします。よろしいでしょうか。その他の所はいかがでしょう。

(質問等無し) (了承)

(委員長)

それでは次の項目、3.「市立病院の果たすべき役割とあり方」について、意見等あればお願いいたします。

(委員)

P5 ①「救急医療」において「市立病院では、年間232件の救急搬送患者を受け入れており、」とありますが、これも平成30年のデータということでしょうか。また、続けて「中間市における貢献は非常に大きい。」と書いてありますが、中間市内で発生した救急搬送のうち333件(12.0%)が中間市内の医療機関に搬送されており、そのうちの232件(70.0%)、つまり全体の8.4%が中間市立病院に搬送されているということです。さらに、患者の重症度の内訳は中等症が多いことを踏まえると、「中間市の救急医療に一定の貢献がある。」という表現の方が客観的だと思います。

(委員長)

どう変えたらよろしいでしょうか。

(委員)

232件という件数を「貢献は非常に大きい」と捉えるのは客観的ではないと感じます。全体の割合では約9%ですが、中間市内の救急搬送件数では70.0%を占めていることから、ある一定の貢献をしている、としたほうが客観的だと思います。

(委員)

割合からすると、「貢献は非常に大きい」というのは言い過ぎだと感じます。

(委員長)

医師数からするとかなりの件数だと思うのですが、客観性は欠けるかもしれないですね。「市立病院では、年間 232 件の救急搬送患者を受け入れている。」とし、そのあとに続く「中間市における貢献は非常に大きい。」は削除します。

他の点はどうですか。

(委員)

P5 の 3 段落目、「これらの機能は」とありますが、これらは指示語にあたりますので改行しないほうが良いと思います。改行するのであれば「以上の機能は」とした方が良いでしょう。

(委員長)

「以上の機能は」としましょう。

(委員)

P5 ②「人工透析」の部分について、「市立病院の特徴的な機能であるとともに、市内に対応可能な施設が限られていることから、必要性が高く、収益確保の点でも貢献が大きい。そして、人工透析患者は今後も増加傾向にあり、今後も拡充が望ましい。」とした方が良いでしょう。すべて縮小や転換と書かれておりますので、今の機能を拡張・拡充させる内容も入れた方が良いでしょう。透析は順調に増えていくと思いますので。

(委員長)

病院はいかがでしょうか。

(病院)

よろしく申し上げます。

(委員長)

現在の文に「そして、人工透析患者は今後も増加すると見込まれており」と続けましょうか。

(委員)

「今後も増加傾向が見込まれており、一層の拡充が望まれる。」が良いと思います。

(委員長)

もう一度言います。「今後、人工透析患者は増加すると見込まれ、一層の拡充が望まれる。」でよろしいでしょうか。ご意見はありませんか。縮小ばかりではなく拡充する部分も必要だというご意見でした。

問題になるのは介護医療院だと思いますが、このような記載でよろしいでしょうか。

他の点も問題ないでしょうか。P6 (2)「病床規模と病棟構成」については「約」という言葉を用いて含みを持たせて表現してますし、P7 (3)「標榜診療科」は「原則とし



て」としております。

(質問等無し) (了承)

次に参ります。

(委員長)

4. 「市立病院の経営形態」について、意見等あれば、お願いいたします。

(委員)

P8の3段落目、「これらを踏まえて」とありますが、先ほどと同様に「以上を踏まえて」に変更してください。

(委員長)

基本的には独法化をする旨が書いてあります。ただし書きとして、「事業損失を計上している収支の改善を早急に行う必要がある。」とあり、これができなければ「指定管理者制度もしくは民間譲渡への経営形態への変更が必要である。」としています。一番望ましいのは独法化であり、その代替案が書かれている流れです。

(委員)

お聞きしたいことがあります。仮に、すべての方法が上手くいかなかった場合について、答申の中に一部記載しなくて良いのでしょうか。

(委員長)

そこまで踏み込んだ答申はできないと考えています。まずは現状からどうするのかを考えるべきで、その先は市が考えることだと思います。基本的には、公立病院であるために地域の医療機関としての必要性を述べれば良く、上手くいかなかったときのことを言及する必要はないと思います。

(委員)

介護医療院を造って、規模を大きくし、形を整えてもうまくいかなかった場合に、どうすれば良いのかが全く検討が付きません。借入れを含む経営上の負担を市が背負ってくれるのかについて書かなくて良いのかなという気がしています。

(病院)

答申を踏まえて市の方針を決定していくことになると思います。

(委員)

第3回委員会で出された事業費60億というのが非常に大きい金額ですので心配になっているところです。

(病院)

今の段階では60億になるのかも分かりませんが、市で方針を決定する際に、60億というのは議論になると思います。

(委員)

5. 「その他市立病院のあり方検討に必要な事項」のなかにP10(4)「将来的な再編・

統合への可能性の考慮」という項目があります。「市立病院が安定した経営を行っていく努力を行ったとしても、限界がある可能性がある。その際には周辺医療機関との再編・統合について検討し、」における周辺医療機関の個別具体例が入った方が良いということでしょうか。

(委員)

そこまで書く必要はないと思います。

(委員長)

他にご質問はありませんか。

(質問等無し) (了承)

(委員長)

5. 「その他市立病院のあり方検討に必要な事項」に入ります。まず、(1)「経営形態の速やかな移行と医師確保」について、次に(2)「新病院整備」について、続いて(3)「院外処方への移行」について、最後に(4)「将来的な再編・統合への可能性の考慮」について書かれています。ご意見ありませんか。

(委員)

確認なのですが、(1)「経営形態の速やかな移行と医師確保」の部分で医師確保について働き方や勤務体制という条件が書かれています。現在の経営形態ではこのような取り組みも実現できないのが実状である。」というのは市立病院ではできないものの独法化したら可能になるという意味ですか。

(委員長)

そうです。

(委員)

(2)「新病院整備」に「医療法や診療報酬で定められた面積や廊下幅を確保できていないために、」とあります。「確保できていない」というのは、例えば病床転換したくても条件を満たさないからできない、という主旨ですよね。現在の文では、今の医療法に反していると捉えられてしまう気がします。「診療報酬改定に対応した有効な対策を行うとしても、今の病院では基準を確保できない。」ということですよね。

(委員)

医療法に反している廊下幅は無いので、医療法を削除すれば良いのではないのでしょうか。新しくできた診療報酬に対応できていない、ということですよね。

(病院)

基準を満たさない、ということです。

(委員)

「診療報酬改定で新たに設定された施設基準に対応できていない。」はどうでしょうか。

(委員長)

もう一度繰り返します。「現在の市立病院は、施設の老朽化が著しく、耐震性に課題を有するだけでなく、診療報酬改定で新たに設定された施設基準に対応できていない。」にしましょう。

(委員)

あとの文章にもつながるかと思います。

(委員長)

他の点はどうですか。

(委員)

P9(1)「経営形態の速やかな移行と医師確保」の最後の2行についてです。「産業医科大学との良好な関係の継続が求められる。」というのは当然で、もう少し内容がイメージできるような言葉があった方が良いでしょう。

(委員)

医師確保のことを書かれているので、意図は伝わるとと思います。

(委員)

自治体病院ですので、自治医科大学の名前を挙げてはどうですか。

(委員)

そもそもへき地ではないので難しいです。

(委員)

挙げない方が良いでしょうね。

(委員長)

そうですね。県に言っていただかないと難しいと思います。

(病院)

県もありますが、多くはへき地への派遣です。

(委員長)

(3)「院外処方への移行」というのは、院内にいる薬剤師には病棟業務をしっかりと行ってもらうという主旨になっています。他にはよろしいでしょうか。

(質問等無し) (了承)

(6) おわりに

(委員長)

「6. おわりに」について、意見等あれば、お願いいたします。

(質問等無し) (了承)

(委員長)

変更点いくつかありますが、皆さん把握されているでしょうか。これで答申案の検討

は終了いたしました。

(病院)

委員会、お疲れさまでした。答申書につきましては、今回ご検討いただいた答申書に委員名簿、要綱等を資料としてつけ、後日、委員長より市長に提出していただきます。委員会の終了にあたり、中間市立病院病院長より挨拶をいただきたいと思います。

(病院)

先生方には中間市の医療改革、それから当病院のあり方について非常に丁寧にご議論いただきました。本当にありがとうございます。とくに武富先生は委員長をお引き受けいただき、会の運営等も含めてご尽力いただきありがとうございます。委員の皆様も忌憚なき意見を述べていただき、非常に議論を深めていただけたのかなと思います。厚生労働省が発表した再編統合も含めた再検証が必要な 424 病院のなかに当院も入っています。ですが、この答申のなかに再編統合も含めた意見も入れていただいていますので、今後の方向性を見据えた目的に沿ったものになっているのではないかと思います。約 5 カ月という短い期間で答申をまとめていただき、ご多忙の中お集まりいただいた皆様には大変感謝しております。本当にありがとうございます。

(病院)

それでは、最後に委員長、副委員長からひと言いただきたいと思います。委員長、よろしくをお願いします。

(委員長)

色々のご意見いただきまして、私自身も非常に勉強になりましたし、とくに答申案の文言修正については非常に良いご意見を言っていただき、良い答申になったと思います。最終的には私が再読しまして、必要であれば手直しをして、福田市長に答申を提出することになりますが、お任せいただいてもよろしいでしょうか。

ご協力ありがとうございます。

(病院)

副委員長、よろしくをお願いします。

(副委員長)

ありがとうございました。医療機関のあり方を考える枠組みが医療法改正のなかでできて、この医療機関がどうあるべきかという枠組みは広がっていると感じます。先ほどこから話題になっております厚生労働省の資料も、あの資料の通りに再編統合をするわけでは無くて、画一的な基準に基づく整理を行った結果をもとに検討してくださいという意図だと思います。また、再編統合の中にはダウンサイジングや機能の転換も含まれています。そういう意味では、今回の答申にある回復期リハに重きを置くことや 122 床ある許可病床を 80 床にすることも意向に沿っていると思います。医療機関のあり方や医療提供体制については一度考えて終わりではないので、引き続き地域医療構想調整会議等でご議論いただければと思います。ありがとうございました。

#### 4. 閉会

(病院)

委員の皆様におかれましては、中間市立病院あり方検討委員会にご尽力いただきましてありがとうございました。以上をもちまして、第4回中間市立病院あり方検討委員会を閉会させていただきます。

本日は、ありがとうございました。

以上